

キャラクター名  
ヘレナ=ロウ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	アマテラス戦闘部隊隊長
	エグザイル					
オプション	オルクス		年齢	20代後半	性別	女
覚醒	忘却	衝動	嫌悪	初期侵食率	41	%
出自	資産家	経験	伝説	邂逅	師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	5	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	5r+7	1	1		ダメージグロブ適応済

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品	
情報収集チーム	
コネ: 手配師	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
	P	N		
喪われた匣: 金の卵	P	N		
レスゲイドビーン "アルディア"	P 好意	N 隔意		
銀	P 懐旧	N 侮蔑		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
バックスタブ	4		常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: ≪縮地≫を使用したメインプロセスの白兵攻撃力+[Lv*5]、侵蝕率基本値+4								
オリジン: サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間【社会】判定達成値+[Lv*2]								
コンセントレイト: エグザイル	2	2	メジャー					
効果: C値-[Lv] (下限値7)								
オールレンジ	4	2	メジャー	武器		対決		
効果: 判定ダイス+[Lv]個								
貫きの腕	1	3	メジャー	武器	単体	対決		
効果: ガード不可、判定ダイス-3個、シナリオ[Lv]回								
縮地	4	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 移動時に使用、シーン内の任意の場所に移動可、離脱可、シナリオ[Lv]回								
氷熱の軍団	3							
効果:								
鍵いらずの歩み	★							
効果:								
熱感知知覚	★							
効果:								
超人的代謝	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

好きなもの: 可愛いもの、辛い食べ物、お酒  
 嫌いなもの: 下心丸見えのスケベマジギ、差別  
 趣味: 映画鑑賞、可愛い女の子とのデート  
 特技: 格闘技、ピッキング

経歴  
 2020年代、アメリカ、ロサンゼルスで生まれた中国系アメリカ人の女性  
 両親が始めた食品販売の会社が成功を収め、幼少期は裕福な暮らしを送っていた  
 ところが、気象操作衛星の不調により世界中で食糧不足などの問題が起き始めるとアジア系やアフリカ系に対する迫害が激しくなり、彼女が10歳の頃について彼女の家が襲撃されることになる  
 飢餓に喘ぐ貧困層のアメリカ人の略奪の対象となったのだ  
 これにより両親は死亡、彼女自身は命からがら逃げ伸びたものの、社会には既に親を亡くした中国系アメリカ人の居場所はなかった  
 本来であれば路地裏で野垂れ死めしかなかった彼女の運命を変えたのは一人の女との出会いであった  
 その女も彼女と同じ中国系アメリカ人であったが、裏社会では名の知れたヒットマンであり、中国伝統武術『八極拳』の名手であった  
 "銀" (イン) と名乗ったその女から武術と裏社会での生き方を学び、一人でも生きられるくらいの実力が付いたころ銀が何者かに殺された  
 彼女は殺し屋、恨みなど星の数ほども買っていたらうから不思議なこと何もない  
 気が付くと彼女は血だまりに一人立っていた  
 周りには人体の残骸が散乱している  
 銀の訃報を知ってから今までのことは思い出せないが、直感的に理解した  
 自分がやったのだ  
 この身に宿る、異能としか呼べない力を使って  
 その後、手に入れた異能の力も使って社会の闇に一層その身を浸らせていたが、ある事件に際して協力したUGNのエージェントにスカウトされそれまでの仕事から